

JAAF

Japan Association of
Athletics Federations

Annual Meeting 2015 全国普及育成担当者会議

2015年11月15日(日)

13:00~16:00

2015年度 全国普及育成担当者会議

「日時」2015年11月15日（日） 13時00分～16時00分

「会場」小田急第一生命ビル 11階会議室

挨拶：普及育成委員会委員長 繁田 進

- ・組織図と役割
- ・会議出席者、全国担当者一覧

<日本陸連から> 13時00分～14時30分

- 指導者資格関連
 1. JAAF 公認指導者制度の概要
 - ◇ 2015年度義務研修実績状況
 - ◇ 全国大会の引率資格について
 - ◇ 有資格者に対する競技会入場特典
 2. JAAF ジュニアコーチ（日体協公認指導員）について
 - ◇ 今年度の実施状況について
 - ◇ 来年度の実施について
 3. JAAF コーチ（日体協公認コーチ）講習会について
 - ◇ 今年度の予定（12/23-26、NTC）
 - ◇ 来年度の募集について
 4. 指導者資格有資格者の義務研修の実施について
- 普及育成関連
 5. JAAF 発掘育成プロジェクトクリニック事業について
- 普及・指導者 U13関連
 6. “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会投種目の変更について
 7. “日清食品カップ”第32回全国小学生陸上競技交流大会について
 8. “日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会について
- 普及・指導者 U16関連
 9. U16指導者講習会について
 10. U16トップトレーニングキャンプについて
 11. U16ブロック研修合宿について
 12. 第19回コーチングクリニックについて
- 普及政策関連
 13. 日本代表選手の過去の競技レベルと種目選択から見てくるジュニア期の指導

質疑応答

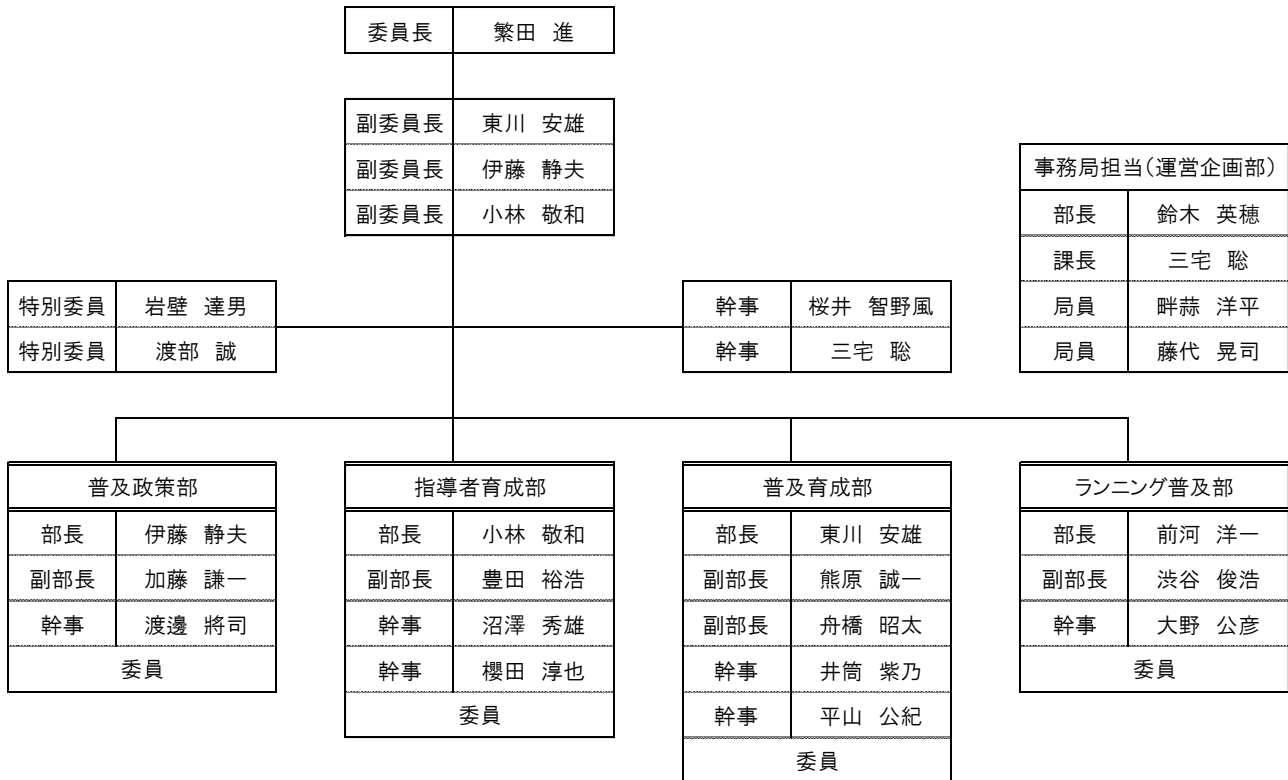
<事例報告>

- 講演1（14時40分～15時20分）
 - ◎ JAAF 公認ジュニアコーチ講習会を活用した三重県の取組について（三重陸協より）
- 講演2（15時20分～16時00分）
 - ◎ みやざきストリートダッシュ王決定戦について（宮崎陸協より）

挨拶：普及育成委員会副委員長 東川 安雄

2015－2016年度普及育成委員会
組織図と役割

<組織図>



<各部の役割>

- 普及政策部
 - エリート・ユースアスリートから一般の子どもまで幅広い層を対象に、陸上競技を通して子どものスポーツを普及育成するモデルを構築し提言するとともに、これまで日本陸連が作成してきた「競技者育成プログラム」に本モデルを反映させる
- 指導者育成部
 - 強化委員会と連携して指導者制度の再構築、IAAF 指導者制度との連携を検討する
 - ◇ 資格関連(JAAF 公認コーチ講習会、JAAF 公認ジュニアコーチ講習会、資格制度の再検討)
 - ◇ スキルアップ講習(U13 指導者研修会の検討、U16 指導者研修会 JAAF コーチングクリニック)
- 普及育成部
 - 小中学生への普及活動、育成活動を実施する。全国小学生大会を中心として、
 - ◇ U13関連(“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会、全国小学生クロスカントリーリレー研修大会、アスリート発掘・育成プロジェクトU13クリニック、小学生陸上優秀選手選抜研修会)
 - ◇ U16関連(U16ジュニアブロック研修合宿、U16トップトレーニングキャンプ)
- ランニング普及部
 - 安心・安全な市民ランニングの啓発、指導者制度の検討

2016年度にむけた変更点と検討事項
(これまでとの変更点・今後の検討事項)

<指導者育成関係>

- 指導者5000人プロジェクト（2021年中期目標値）
 - JAAF公認ジュニアコーチ講習会の更なる展開
 - 各県での担い手の養成（*現在検討中）
- 有資格者へのフォローアップ
 - 各県での義務研修の設定（*後に説明 P20,21）
 - 失効者へのアプローチ

<普及育成関連>

- 小学生登録制度の検討（2017年度を目指して）
- JAAF発掘育成プロジェクトクリニック事業
 - 会場選定方法の見直し

<普及・指導者 U13関連>

- 全国小学生陸上交流大会
 - 投種目の変更について
- 全国小学生陸上、クロスカントリーリレー研修大会について
 - 引率指導者資格の見直し

<普及・指導者 U16関連>

- U16ブロック研修合宿とトップトレーニングキャンプの連携
 - U16トップトレーニングキャンプ（2016年度分）の時期変更・場所（地方開催）の検討

都道府県陸協への検討依頼事項

2016年度事業実施にあたり、下記の点ご検討頂きますようお願い申し上げます。

1. 指導者養成担当者の決定
(ジュニアコーチ、公認コーチ、義務研修、日体協指導者登録システム担当者)
※後日陸協宛にご案内を送らせて頂きます。
2. JAAF 公認ジュニアコーチ開催の検討
3. JAAF 公認コーチ受講推薦者の決定 (各都道府県 2名まで)
4. U16 指導者講習会開催の検討
5. U13、U16 クリニック開催の検討

JAAF公認指導者制度【指導者 5,000 人プロジェクト】の概要

<プロジェクト概要>

2011 年度に指導者制度を改訂し、2021年度までに指導者 5,000 人養成を目標に掲げる「指導者 5,000 人プロジェクト」を開始した。2012 年度より下記の通り指導者養成を実施し、従来の 4 資格から、JAAFジュニアコーチ、JAAF コーチの 2 種類に絞り、指導者を養成する。

<指導者 5,000 人プロジェクト達成に向けて>

1. 指導者の新規養成
→ ジュニアコーチ養成講習会開催のお願い
2. 指導者の継続・更新
→ 義務研修実施のお願い

<有資格者の状況> * 2015/11/2 時点の数

ジュニアコーチ:1,890 人 コーチ:1,047 人 計 2,937 人

*水泳は 17,775 人、サッカーは 33,373 人、バレーボールは 14,304 人、バスケットボールは 6,917 人の有資格者数(※2014 年 10 月時点)

<指導者制度>

資格名	JAAF 公認ジュニアコーチ (日体協公認陸上競技指導員)	JAAF 公認コーチ (日体協公認陸上競技コーチ)
養成目的	発育発達段階を考慮した競技者育成のための基本指導を行える指導者を養成する。	都道府県レベルの競技者の指導、育成、強化にあたる指導者を養成する。
役割	地域スポーツクラブ(スポーツ少年団を含む)等において陸上競技の基礎的な実技指導にあたる。小・中・高校生の部活動の指導にあたる。	各地域および都道府県での競技者育成・強化にあたる。
受講条件	受講年度の 4 月 1 日現在満 18 歳以上で、現在陸上競技の指導に携わっている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わる希望がある者(学生など)。	受講年度の 4 月 1 日現在満 27 歳以上で、都道府県陸上競技協会、または、日本陸上競技連盟より推薦された者認める者。
時間数	集合研修 30 時間	集合 40 時間
時間数 受講料	共通科目:21,600 円 専門科目:16,200 円 (専門科目免除校は 11,880 円)	共通 19,440 円 専門 10,800 円
登録料	初期登録手続き料 3,000 円、登録料 14,000 円/4 年	

* 共通科目は日体協が実施。共通は免除になる可能性がある。

JAAF 公認指導者資格有資格者一覧 (2015年11月1日時点)

	有効			期限切れ 未登録	有効期限切れ予定 義務研修未受講者数	
	JAAF公認 コーチ	JAAF公認 ジュニアコーチ	合計		~2016/3	~2016/9
北海道	24	33	57	20	1	4
青森	15	19	34	40	2	1
岩手	28	23	51	22	1	
宮城	8	21	29	32		1
秋田	8	14	22	8		1
山形	22	33	55	43		4
福島	26	120	146	117	5	7
茨城	31	21	52	28	2	1
栃木	18	12	30	5		1
群馬	26	68	94	36	1	11
埼玉	51	84	135	42	2	8
千葉	51	51	102	56		5
東京	87	154	241	110	2	26
神奈川	41	53	94	60	1	10
山梨	16	41	57	40		1
新潟	27	53	80	90	1	4
富山	10	58	68	46	1	6
石川	8	29	37	31	1	
福井	20	60	80	68	9	3
長野	31	36	67	34	1	2
静岡	27	70	97	48		13
愛知	33	50	83	43	1	7
岐阜	17	23	40	32		2
三重	27	41	68	34		4
滋賀	27	14	41	43	1	5
京都	34	30	64	27	2	3
大阪	17	32	49	19	1	
兵庫	18	34	52	43		1
奈良	15	14	29	21	1	1
和歌山	16	74	90	39	1	13
鳥取	11	31	42	51	2	3
島根	8	9	17	16		
岡山	21	15	36	14	1	3
広島	26	81	107	89	2	6
山口	17	33	50	85		
徳島	6	17	23	32		1
香川	19	10	29	18		1
愛媛	23	22	45	29		2
高知	15	23	38	57		
福岡	22	51	73	54	2	4
佐賀	7	12	19	30	1	1
長崎	16	23	39	57	1	3
熊本	18	29	47	123	1	5
大分	15	41	56	102	1	5
宮崎	16	59	75	57		2
鹿児島	20	43	63	32	1	1
沖縄	8	26	34	71	1	3
	1,047	1,890	2,937	2,194	50	185

2015 年度義務研修実施状況

○日本陸連による義務研修の実施について

・U13・U16 クリニック(全国10会場～15会場程度)

・コーチングクリニック(年1回～2回)

・ジュニアコーチ養成講習会(再受講)

・学会との連携(※新規)

↳スプリント学会@鹿屋体育大(11月22日、23日)、陸上競技学会@日女(11月28日、29日)

	講習会名	会場	主催	日程
1	ジャンプカンファレンス	東京	日本陸連	2015年11月29日
2	日本スプリント学会第26回大会	鹿児島	日本陸連	2015年11月22日
3	コーチングクリニック	東京	日本陸連	2016年1月23日
4	U16クリニック栃木	栃木	日本陸連	2016年3月12日
5	U16クリニック宮城	宮城	日本陸連	2016年1月23日
6	U16クリニック徳島	徳島	日本陸連	2015年12月13日
7	U16クリニック富山	富山	日本陸連	2015年11月22日
8	U16クリニック沖縄	沖縄	日本陸連	2015年9月26日
9	U16クリニック広島	広島	日本陸連	2015年9月19日
10	U16クリニック北海道	北海道	日本陸連	2015年8月9日
11	U13クリニック静岡	静岡	日本陸連	2015年12月20日
12	U13クリニック新潟	新潟	日本陸連	2015年11月29日
13	U13クリニック青森	青森	日本陸連	2015年11月1日
14	U13クリニック北海道	北海道	日本陸連	2015年9月26日
15	U13クリニック広島	広島	日本陸連	2015年8月15日
16	U13クリニック茨城	茨城	日本陸連	2015年8月1日
17	U13クリニック滋賀	滋賀	日本陸連	2015年7月26日
18	ジュニアコーチ講習会富山	富山	日本陸連	2015年8月1日
19	ジュニアコーチ講習会北海道	北海道	日本陸連	2015年8月4日
20	ジュニアコーチ講習会大阪	大阪	日本陸連	2015年8月11日
21	ジュニアコーチ講習会香川	香川	日本陸連	2015年8月11日
22	ジュニアコーチ講習会宮城	宮城	日本陸連	2015年8月15日
23	ジュニアコーチ講習会福島	福島	日本陸連	2015年9月5日
24	ジュニアコーチ講習会山形	山形	日本陸連	2015年9月21日
25	ジュニアコーチ講習会東京	東京	日本陸連	2015年9月21日
26	ジュニアコーチ講習会三重	三重	日本陸連	2015年9月21日
27	ジュニアコーチ講習会埼玉	埼玉	日本陸連	2015年10月24日
28	ジュニアコーチ講習会神奈川	神奈川	日本陸連	2015年11月21日
29	ジュニアコーチ講習会鳥取	鳥取	日本陸連	2015年11月21日
30	ジュニアコーチ講習会鹿児島	鹿児島	日本陸連	2015年12月5日
31	ジュニアコーチ講習会広島	広島	日本陸連	2015年1月30日
32	U16指導者講習会宮崎	宮崎	日本陸連	2015年11月23日
33	U16指導者講習会群馬	群馬	日本陸連	2016年1月17日
34	U16指導者講習会福岡	福岡	日本陸連	2016年1月31日
35	U16指導者講習会山梨	山梨	日本陸連	2016年2月20日
36	U16指導者講習会佐賀	佐賀	日本陸連	2016年3月13日
37	平成27年度群馬陸上競技協会公認スポーツ指導者研修会	群馬	群馬陸上競技協会	2015年8月30日
38	テーピング講習会	宮崎	宮崎陸上競技協会	2015年8月8日

＜大会での資格の義務付け＞
全国大会の引率資格について

○ 国民体育大会

- ・監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ、公認陸上競技上級コーチ(以上、JAAF公認コーチ)、又は公認陸上競技指導員、公認陸上競技上級指導員(以上、JAAF公認ジュニアコーチ)の資格を有する者とする。

○ “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会

- ・総監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する指導者で、JAAF公認ジュニアコーチ(日体協公認指導員・上級指導員)、JAAF公認コーチ(日体協公認コーチ・上級コーチ)の資格を取得している者、または、JAAF公認ジュニアコーチ専門科目修了者とする。

○ “日清食品カップ”全国小学生クロスカントリー・リレー研修大会

- ・指導者のうち1名は、JAAF公認ジュニアコーチ(日体協公認指導員・上級指導員)、JAAF公認コーチ(日体協公認コーチ・上級コーチ)の資格を取得している者、または、JAAF公認ジュニアコーチ専門科目修了者とする。
- * 小学生指導者中央研修会修了者はJAAF公認ジュニアコーチ専門科目修了者に含まれる(該当者には修了証を2012年に発送済み)。

※2017年度より全国小学生陸上競技交流大会(第33回大会)、全国小学生クロスカントリー・リレー研修大会(第20回大会)の参加資格を、変更致します。

【小学生陸上】

総監督・指導者4名は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。

- ・JAAF公認ジュニアコーチ(日体協公認陸上競技指導員・上級指導員)
- ・JAAF公認コーチ(日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ)

【小学生クロカン】

各チームの指導者2名は、ともに以下の条件を満たしていること。

- ・JAAF公認ジュニアコーチ(日体協公認陸上競技指導員・上級指導員)
- ・JAAF公認コーチ(日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ)

指導者資格有資格者に対する競技会入場特典(2015年度新規)

概要

日本陸連で行っている、公認指導者資格(JAAF公認コーチ、JAAF公認ジュニアコーチ)有資格者に対して、主催競技会への入場特典措置を実施する。

<対象者数>

- 全国で約3,000名

<対象競技会>

- ゴールデングランプリ
- 日本選手権
- ジュニアオリンピック・日本選手権リレー

<対象席種>

- 設定がある中で最も安価な席種

入場方法

指定の受付場所に、日体協発行の資格カードと写真入りの本人確認ができるカードを持参し、本人確認の上チケットと交換する。本人以外の使用は認めない。

<日体協発行指導者登録証のサンプル>



対象者への告知方法

詳細の受取方法に関しては、各大会の web サイトにて掲載する。

JAAF ジュニアコーチ養成講習会 2015 年度の実施状況について

<ジュニアコーチ講習会の実績>

2012 年度～2015 年度の実績は、延べ 40 会場、1,328 名を養成した。

会場数	2012年度		2013年度		2014年度		2015 年度	
	会場	合格者数	会場	合格者数	会場	合格者数	会場	申込者数
1	広島	45	広島	41	東京	64	東京	102
2	東京	41	福島	36	三重	46	三重	100
3	福島	30	埼玉	30	福島	31	大阪	89
4	北海道	13	福井	28	宮崎	26	香川	47
5			愛媛	27	新潟	26	鹿児島	47
6			山梨	27	広島	24	神奈川	46
7			岩手	21	大阪	21	山形	39
8			沖縄	15	愛媛	20	富山	39
9			和歌山	12	埼玉	17	埼玉	28
10			北海道	11	静岡	16	宮城	26
11					北海道	15	鳥取	22
12					兵庫	14	広島	18
13							福島	14
14							北海道	14
総計	4 会場	129 人	10 会場	248 人	12 会場	320 人	14 会場	631 人

ジュニアコーチ養成講習会開催県一覧

	会場	2012年	2013年	2014年	2015年
1	北海道	○	○	○	○
2	青森県				
3	岩手県		○		
4	宮城県				○
5	秋田県				
6	山形県				○
7	福島県	○	○	○	○
8	茨城県				
9	栃木県				
10	群馬県				
11	埼玉県		○	○	○
12	千葉県				
13	東京都	○			○
14	神奈川県				○
15	新潟県			○	
16	富山県				○
17	石川県				
18	福井県		○		
19	山梨県		○		
20	長野県				
21	岐阜県				
22	静岡県			○	
23	愛知県				
24	三重県			○	○
25	滋賀県				
26	京都府				
27	大阪府			○	○
28	兵庫県			○	
29	奈良県				
30	和歌山県		○		
31	鳥取県				○
32	島根県				
33	岡山県				
34	広島県	○	○	○	○
35	山口県				
36	徳島県				
37	香川県				○
38	愛媛県		○	○	
39	高知県				
40	福岡県				
41	佐賀県				
42	長崎県				
43	熊本県				
44	大分県				
45	宮崎県			○	
46	鹿児島県				○
47	沖縄県		○		

2016 年度JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会

(公益財団法人日本体育協会公認陸上競技指導員)

専門科目講習 開催要項(案)

- 目的** 地域スポーツクラブ(スポーツ少年団を含む)、小・中・高校生の部活動において発育発達段階を考慮した、競技者育成のための基本指導ができる指導者を養成する。
- 主催** 公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本体育協会
- 主管** 公益財団法人日本陸上競技連盟普及育成委員会、開催陸上競技協会

1. カリキュラム

- (1)共通科目 35h(NHK 学園 通信講座)
- (2)専門科目 40h(集合講習30h/その他10h) *専門科目の時間数は下記参照

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1. 種目の特性に応じた基礎理論	①	発育発達段階を踏まえた競技者の育成	2h	1h	3h
	②	指導における各種理論	5h	3h	8h
	③	陸上競技の主なルール	1h	1h	2h
	④	部活動の運営と地域クラブ	1h	2h	3h
2. 実技指導法	①	陸上競技の種目別指導	19h	1h	20h
3. 実技指導演習	①	陸上競技の種目別指導の方法	2h	2h	4h
合 計			30h	10h	40h

2. 開催地/日程/会場

開催地/日程/会場については、P.3の【開催日程一覧】を参照。
*必ず注意事項まで確認すること。

3. 受講条件

- (1)受講年度の4月1日現在、**満18歳以上**で、現在陸上競技の指導に携っている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わる希望がある者(学生など)で、日本陸上競技連盟普及育成委員会が認める者。
- (2)指定のカリキュラム(集合講習30h)について、**自身で選択した1会場にて全日程を受講すること。**
*交通事情を除き、30分以上の遅刻・早退・欠席が1日でもある場合は全日程の再受講となる。
*再受講については、全日程を別会場にて振替えての受講、もしくは次年度に再受講をすること。
*体調不良、一身上の都合など個人的な事情については考慮しない。

4. 申込方法

申込みについては別紙の「JAAF公認ジュニアコーチ講習会受講申込みについて」の申込手順を確認すること。

①共通科目受講者

(1)申込期間 **6月1日～6月30日(※期間外の申込は不可)**

(2)申込方法

日本体育協会 HP「指導者マイページ」より申込

②共通科目免除及び共通科目免除予定者

(1)申込期間 **6月1日～各会場開催日の1ヶ月前**

(2)申込方法

共通科目免除者 6月1日～6月30日 日本体育協会 HP「指導者マイページ」より申込

7月1日～受講日の1ヶ月前 日本陸連 HP より申込

共通科目免除予定者 7月1日～受講日の1ヶ月前 日本陸連 HP より申込

※日本陸連 HP より申し込んだ場合、専門科目受講後別途日体協 HP「指導者マイページ」から資格取得の申請が必要となります。専門科目受講のみでは「JAAF公認ジュニアコーチ」の資格として認定されませんのでご注意ください。

※共通科目が免除対象となるスポーツ指導者養成講習会免除適応コース承認校は日体協 HP よりご確認ください。

6. 受講料

専門科目:15,120円 +日体協手数料 1,080円

- * 後日発送する振込依頼書の指定日までに、日本陸上競技連盟指定の口座へ振込みをする。
- * 専門科目受講に対して一旦納入された受講料は、理由の如可を問わず返金しない。
- * 振込後、都合により今年度中に受講できない場合、振込年を含み4年間は受講料が有効となる。
- * 別途テキストの購入が必要となります。

共通科目:21,600円

- * NHK学園より送付される所定の用紙にて振込をする。

7. 検定・審査

講習に基づく検定・審査は、共通科目と専門科目の区別に実施する。

- (1)共通科目における検定試験は、日本体育協会提携の通信講座(NHK学園)の課題検定による判定・審査とする。
- (2)専門科目における検定試験は、日本陸上競技連盟普及育成委員会により技能検定を主体に、筆記試験等を加えた総合判断とし審査する。
- (3)共通科目・専門科目のいずれも検定に合格した者を、「JAAF公認ジュニアコーチ(日体協公認陸上競技指導員)養成講習会修了者」として認める。

8. 資格認定

共通科目・専門科目の検定に合格(講習免除者を除く)し、指導者登録(登録の申請・登録料の納入)を完了した者は、**次年度の10月1日付**で、日本体育協会より「指導員」として認定され、「認定証」および「登録証」が交付される。

9. 登録・更新

(1)登録について

指導者資格登録には、以下の登録料が必要となる。また更新には義務研修の受講が必要となる。

◇登録料:14,000円(日本体育協会10,000円+日本陸上競技連盟4,000円)

◇初期登録料:3,000円 *合格後、日本体育協会へ納入する。(登録料は上記金額が4年分となる)

(2)更新について

指導者としての登録有効期限は4年間となる。本資格の更新には、資格有効期限の6ヶ月前までに日本体育協会(都道府県体育協会実施の研修も含む)または日本陸上競技連盟の定める義務研修を受けなければならない。

◇更新料:14,000円(日本体育協会10,000円+日本陸上競技連盟4,000円)

*資格登録後は4年ごとに更新料が必要となる。更新料は日本体育協会へ納入する。

10. 受講有効期限

受講者は原則として、受講開始年度を含め4年以内に専門科目を修了しなくてはならない。(共通科目については1年以内。)なお、期限内に修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。

11. 受講取消

受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合、日本陸上競技連盟普及育成委員会にて審査し、受講を取消す場合がある。

12. その他

本講習会受講に際し取得した個人情報は、日本体育協会及び各都道府県体育協会、日本陸上競技連盟及び各都道府県陸上競技協会が、受講管理に関する連絡(資料の送付等)と、関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。

13. 本件に関する問い合わせ(※受講科目によって異なりますのでご注意ください)

専門科目講習会について

日本陸上競技連盟事務局 担当:

〒163-0717 東京都新宿区西新宿小田急第一生命ビル 17階

E-mail:coach@jaaf.or.jp / TEL:03-5321-6580 / FAX:03-5321-6591

共通科目通信講座(NHK 学園)について

日本体育協会 スポーツ指導者育成部育成課

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館 2階

TEL:03-3481-2226 / FAX:03-3481-2284

開催日程一覧(2015 年度実績)

開催地	日程	会場
北海道	8月4日(火)、8月5日(水)、8月6日(木)	北見市東稜公園陸上競技場
宮城	8月15日(土)、8月16日(日)、9月22日(火)、 9月23日(水)	ひとめぼれスタジアム宮城(8/15のみ) 仙台市陸上競技場
福島	9月5日(土)、6日(日)、11月14日(土)、 11月15日(日)	福島大学
山形	9月21日(月)、9月22日(火)、12月5日(土)、 12月6日(日)	山形県総合運動公園
埼玉	10月24日(土)、10月25日(日)、10月31日(土)、 11月8日(日)	上尾運動公園陸上競技場
神奈川	11月21日(土)、11月22日(日)、11月29日(日)、 12月13日(日)	城山陸上競技場
東京	9月21日(月祝)、9月22日(火)、9月23日(水)	味の素ナショナルトレーニングセンター
三重	9月21日(月)、9月22日(火)、9月23日(水)	皇學館大学
富山	8月1日(土)、8月2日(日)、8月8日(土)、 8月9日(日)	富山県総合運動公園陸上競技場
大阪	8月11日(火)、8月12日(水)、8月13日(木)	ヤンマーフィールド長居
広島	1月30日(土)、1月31日(日)、2月6日(土)、 2月7日(日)	広島大学
鳥取	11月21日(土)、11月22日(日) 11月23日(月・祝)	名和総合運動公園陸上競技場
香川	8月11日(火)、8月12日(水)、8月13日(木)	香川県立丸亀競技場
鹿児島	12月5日(土)、12月6日(日)、12月12日(土)、 12月13日(日)	鹿児島県立鴨池陸上競技場 補助競技場

【注意事項】

- * 日程・会場は変更になる場合もございます。変更の場合は別途お知らせいたします。
- * 各会場とも、開催初日の始めにオリエンテーション、最終日の終わりに検定試験を行います。
- * 開始時刻は8時半～9時、終了時刻は18時～20時を予定しております。(会場によって異なります。)
- * 交通事情を除き、30分以上の遅刻・早退・欠席が1日でもある場合は全日程の再受講をしていただきます。
- * 体調不良、一身上の都合など個人的な事情については考慮致しかねます。
- * 悪天候や災害により講習会が中止になる場合、別途ご連絡致します。

2016 年度 JAAF 公認コーチ養成講習会について

2015 年 11 月 15 日

各加盟団体理事長(専務理事)殿

公益財団法人日本陸上競技連盟
理事・普及育成委員長 繁田 進

2016 年度 JAAF 公認コーチ(日体協公認陸上競技コーチ)養成講習会実施に伴う 受講希望者の推薦について(お願い)

平素は、日本陸上競技界発展のため格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本連盟では 2012 年度より指導者制度を新制度に移行いたしました。新制度下での JAAF 公認コーチ(日体協公認コーチ)養成講習会を実施しております。

新制度では、JAAF 公認コーチを“各都道府県にて強化・育成に携わる方”、“選手団の監督・引率を担う(もしくは将来的にそういった役割を担う)方”と位置づけています。

つきましては、貴陸協より上記の趣旨を鑑み、受講希望者をご推薦いただきますよう、よろしくお願い致します。ご回答は、**2 月 5 日(金)**までご返送いただくようお願い致します。希望者多数の場合、今年度の受講が出来ない場合もございます。

記

- 養成コース名： JAAF 公認コーチ(日体協公認陸上競技コーチ)
- 受講条件： 受講年度の 4 月 1 日現在満 27 歳以上で、日本陸上競技連盟登録者であること。
都道府県陸協または本連盟が推薦し、普及育成委員会が認める者。
- 受講予定者数： 60 名程度
- 受講料： 共通科目 19,440 円／専門科目 10,800 円
- 登録料(4 年間)： 14,000 円(初回登録時のみ、新規登録料 3,000 円が別途必要)
- 実施時期： 2016 年 12 月 23 日(金・祝)～26 日(月) ※予定
 - *その他、日体協が実施する共通科目講習会、及び年間を通じての通信講座の受講が必要となります。
 - *日体協免除適応コース承認校(大学・専門学校)卒業生で共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの免除証明書を取得済みもしくは別資格にて共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの修了証を取得済みの場合、共通科目講習が免除されます。
 - *共通科目の集合講習会については、別添の日程表をご確認ください。
 - *受講有効期間は、お申込みから 4 年間です。期間内に受講を完了することで資格の取得が可能です。
- 推薦締切： **2 月 5 日(金)必着**
 - *推薦者には、日本陸連から直接、受講申込関係書類をお送りします。
 - *「JAAF 公認コーチ」とは旧「C 級コーチ」です。

【同封書類】

- ◇専門科目講習会実施要領
- ◇推薦書
- ◇共通科目集合講習会 開催期日・会場一覧

<本件に関するお問合せ>

日本陸上競技連盟事務局 担当: 畔蒜、三宅
E-mail: abiru@jaaf.or.jp / miyake@jaaf.or.jp
TEL: 03-5321-6580 / FAX: 03-5321-6591

以上

JAAF公認コーチ(日体協公認陸上競技コーチ) 専門科目講習会実施要領

■JAAF公認コーチ(公認陸上競技コーチ)専門科目養成講習会カリキュラム

資格の名称	JAAF公認コーチ(日体協公認陸上競技コーチ)
養成目的・役割	都道府県レベルの競技者の指導、育成、強化にあたる指導者を養成する。都道府県で選手団の監督・コーチを担う者、指導者育成の中心的な役割を担う者を養成する。
受講料	共通科目 19,440 円／専門科目 10,800 円
登録料(4年間)	14,000 円(初回登録時のみ、新規登録料 3,000 円)
更新のための義務研修	資格登録有効期限 4 年間のうちに、最低 1 回は日本陸上競技連盟(都道府県陸上競技協会が実施する研修会を含む)が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。
担当委員会	日本陸上競技連盟普及育成委員会

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1.種目の特性に応じた基礎理論	①	陸上競技の各種理論	11.5h	14h	25.5h
	②	陸上競技とドーピング防止	1.5h		1.5h
	③	陸上競技の食事と栄養	1.5h		1.5h
	④	陸上競技のルール	1.5h		1.5h
	小 計		16h	14h	30h
2.種目別実技指導法	①	陸上競技の種目別指導・演習	24h	6h	30h
	小 計		24h	6h	30h
合 計			40h	20h	60h

公益財団法人日本陸上競技連盟
普及育成委員会委員長 繁田 進 殿

_____ 陸上競技協会

理事長(専務理事)名 _____ 印

推 薦 書

2016 年度 JAAF 公認コーチ(日体協公認コーチ)養成講習会に下記の指導者を推薦します。

1	ふりがな 氏名		男・女	満年齢 歳
	自宅住所	〒		
	自宅 TEL		自宅 FAX	
	携帯番号		E-mail (携帯不可)	
	勤務先名			
	勤務先住所	〒		
	専門種目		指導対象	
2	ふりがな 氏名		男・女	満年齢 歳
	自宅住所	〒		
	自宅 TEL		自宅 FAX	
	携帯番号		E-mail (携帯不可)	
	勤務先名			
	勤務先住所	〒		
	専門種目		指導対象	

* 選考の資料としますので優先順位1~2を配慮してご記入下さい。

* 希望者多数の場合は受講できない場合があります。

* 推薦され、普及育成委員会から日本体育協会への推薦が決定された方には「受講の手引き」を直接本人にお送りいたします。

* お手数ですが、**2月5日(金)必着**にてご回答ください。それまでにご連絡がない場合は推薦者なしと判断させていただきます。

指導者 5,000 人プロジェクト達成に向けた 各都道府県における義務研修の実施について

2021 年度日本陸連公認指導者 5,000 人の目標を達成する為に、新規の指導者を養成すると同時に、既存の資格者の継続講習(義務研修を実施)する必要があります。指導者のブラッシュアップ及び資格の更新を促進する必要があることから、各都道府県において年に最低1回義務研修の実施をお願い致します。

○開催頻度 最低年1回

○開催場所 各都道府県陸協にて実施

○義務研修の実施の条件 集合研修3時間以上

- ・スポーツに関する講演または研究発表、実技、指導実習、研究協議などによって構成されていること
- ・時間数が3時間以上の集合講習であること

○都道府県陸協による義務研修実施条件のルール化

※義務研修のみを目的とした講習を実施する場合、費用及び人的負担が大きいため、各陸協で既に行っている取組を義務研修として実施頂きたい。

①各陸協主催の練習会

②各陸協主催の合宿

③各陸協主催の会議

④各陸協主催の各種イベント(かけっこ教室、講習会、研修会)

⑤陸連主催の各種イベント(U13・U16 クリニック、ジュニアコーチ講習会等)

※指導者に向けた講習会形式ではない場合でも、大会やイベントの実施運営等の活動も認める。

○義務研修担当者決定のお願い:

○義務研修実施方法:事前申請

①日本陸連義務研修申請フォーム : <http://goo.gl/forms/69uGZAx7Pe>

義務研修開催内容の申請 : 随時受付

※2016年3月5日(日)までに申請した方には、日本陸連研究紀要の送付に案内を同封させていただきます。

○実施報告について

- ・報告の方法:日本陸連指導者担当宛てにメールにて報告。(指導者名、登録番号)
- ・報告の時期:講習会修了後、2週間以内をお願いいたします。
- ・報告内容:義務研修受講者名簿(氏名、フリガナ、指導者登録番号)
- ・メール送付先: 日本陸連指導者担当 coach@jaaf.or.jp

JAAF 義務研修申請フォーム

<http://goo.gl/forms/69uGZAx7Pe>

JAAF指導者資格義務研修申請フォーム

*必須

陸協担当者氏名*

陸協担当者メールアドレス*

担当者電話番号*

研修会名*

研修会概要*

開催日*

開催会場*

参加料*

日程表内容 講師*

お問合せ先*

申込方法*

送信

Google フォーム でパスワードを送信しないでください。

JAAFアスリート発掘育成プロジェクトクリニック事業について

- 事業の主旨：
日本陸連が競技者育成プログラムに則り、都道府県を広くカバーしたクリニック事業を各年代に開催し、競技者育成プログラムの考え方に基づいた指導の啓蒙、タレント発掘および都道府県陸協との連携の強化を目的とする。

- 2015年度の実施について
今年度の実施会場、日程については別紙参照。

- 来年度の実施内容について
U-13（小学生）、U-16（中学生）を対象に全国で10～15会場

【U-13】

09:30～10:00	開講式	
10:00～10:20	参加児童・指導者・保護者	
	大塚製薬・栄養講習（15～20分程度）	
10:20～11:50	参加児童	指導者・保護者
	・基本の運動	理論講習①（45分程度） 発育発達
12:00～13:00	昼食休憩	
13:00～14:30	参加児童	指導者・保護者
	種目別実技 ・短距離走 or ハードル走 ・跳躍運動 or 投運動 （2種目ローテーション）	理論講習②（45分程度） 栄養学
14:40～15:00	閉講式	

【U-16】

09:30～10:00	受付、開講式	
10:15～12:00	参加選手	指導者・保護者
	・基本練習 ・コントロールテスト	理論講習（45分程度） 発育発達
12:05～12:45	昼食休憩	
12:45～13:15	大塚製薬による栄養講習（30分程度）	
13:30～15:00	参加選手	
	種目別実技 短距離／中長距離／ハードル／跳躍／投てき	
15:00～15:10	閉講式	

*上記日程はいずれも（案）です。

○開催県の選定について

今年度まで各ブロックごとに開催地の選定を行っていましたが、来年度は、ブロックごとの選定を廃止し、開催を希望する都道府県での開催とする。年明けに各都道府県陸協宛てに開催地募集案内を送付する。

○講師：日本陸連派遣講師および一部地元陸協講師（種目別練習時）

○役割分担・経費負担

➤ 日本陸連

- ◇ 講師の選定・講師費用負担（日当交通費・謝金・宿泊代）
- ◇ 開催地補助金（10万円/会場）負担

➤ 開催地陸協

- ◇ 地元講師・スタッフ選定・費用負担
- ◇ 会場選定・会場使用料負担
- ◇ 昼食代負担
- ◇ その他開催に必要なもの

2015年度アスリート発掘育成プロジェクト クリニック事業 会場・日程・派遣講師一覧

U13

開催日	都道府県	開催競技場名	ホテル	講師							講師連絡担当	地元担当者
				発育発達講習	基本の運動	短距離	ハードル	跳躍	投てき	栄養講習		
7月26日(日)	滋賀	甲賀市水口スポーツの森陸上競技場	水口センチュリーホテル	東川 安雄	熊原 誠一	原 悦子		森 健一		浜野 純	森 健一	黒川 俊文
8月1日(土)	茨城	県立笠松運動公園陸上競技場	ホテルルートインひたちなか	伊藤 静夫	岸 政智		森 健一	渡邊 将司		鈴木 いづみ	渡邊 将司	柏崎 勝美
8月15日(土)	広島	東広島運動公園陸上競技場	東横INN東広島西条駅前	桜井 智野風	長澤 仁志		熊原 誠一		森 健一	中藪 宏美	長澤 仁志	大田 恒二 花守 慎太郎
9月26日(土)	北海道	千代台公園陸上競技場	ルートイングランディア函館五稜郭	岩壁 達男	大宮 真一	平山 公紀			室伏 由佳	原 彬子	大宮 真一	岡部 壽一
10月4日(日)	香川	香川県立丸亀競技場	ホテルルートイン丸亀	東川 安雄	岸 政智	中川 博文			室伏 由佳	今川 弥生	岸 政智	本田 恵
11月1日(日)	青森	引前市運動公園陸上競技場	ホテルルートイン弘前駅前	岩壁 達男	上野 祐紀子	原 悦子		下山 良成		臼井 名津子	上野 祐紀子	三上 朋子
11月22日(日)	熊本	熊本県民総合運動公園陸上競技場	熊本東急REIホテル	東川 安雄	熊原 誠一	中川 博文		山田 真由美		大畑 好美	山田 真由美	三谷 浩輔
11月29日(日)	新潟	デンカビックスワンスタジアム	新潟東急REIホテル	伊藤 静夫	長澤 仁志		未定	藤原 泰裕		石墨 清美江	長澤 仁志	高橋 弥一
12月20日(日)	静岡	静岡県草薙総合運動場陸上競技場	静岡ホテル時之栖	東川 安雄	上野 祐紀子		秋元 恵美	井村 久美子		浜野 純	上野 祐紀子	豊田 博幸

U16

開催日	都道府県	開催競技場名	ホテル	講師							講師連絡担当	地元担当者
				発育発達講習	短距離	中長距離	ハードル	跳躍	投てき	栄養講習		
8/9(日)	北海道	釧路市民陸上競技場	ホテルクラウンヒルズ釧路	桜井 智野風	木村 慎太郎	野村 雅昭	沼澤 秀雄	ハニカット 陽子	森 健一	山崎 美枝	野村 雅昭	本田 貢
9/19(土)	広島	広島県総合グランド陸上競技場	広島東急REIホテル	東川 安雄	平山 公紀	大庭 恵一	盛田 和彦	ハニカット 陽子	田代 章	中藪 宏美	盛田 和彦	濱村 祥水
9/26(土)	沖縄	西崎陸上競技場	ホテルスポーツロッジ糸満	繁田 進	中川 博文	舟橋 昭太	島津 勝己	福島 洋樹	日渡 勝則	浜野 純	舟橋 昭太	大城 勝也
11/22(日)	富山	富山県総合運動公園	富山地鉄ホテル	伊藤 静夫	木村 慎太郎	井筒 紫乃	島津 勝己	下山 良成	日渡 勝則	高島 朋子	下山 良成	長谷 基
12/6(日)	愛知	パロマ瑞穂スタジアム	名古屋駅前モンプランホテル	伊藤 静夫	平山 公紀	野村 雅昭	櫻田 淳也	井村 久美子	室伏 由佳	浜野 純	平山 公紀	丹羽 智行
12/13(日)	徳島	鳴門・大塚スポーツパーク第二陸上競技場	ホテルアドイン鳴門	渡部 誠	平山 公紀	佐伯 徹郎	長岡 樹	藤原 泰裕	室伏 由佳	長坂 聡子	佐伯 徹郎	多田 利行
12/19(土)	鹿児島	鹿児島県立鴨池陸上競技場	鹿児島サンロイヤルホテル	伊藤 静夫	佐藤 真太郎	舟橋 昭太	盛田 和彦	森 健一	渡邊 将司	高井 恵理	舟橋 昭太	高山 克司
1/23(土)	宮城	ひとめぼれスタジアム宮城	仙台ワシントンホテル	伊藤 静夫	原 悦子	井筒 紫乃	長岡 樹	渡邊 将司	日渡 勝則	臼井 名津子	長岡 樹	青木 義行
3/12(土)	栃木	栃木県総合運動公園陸上競技場	千サンホテル宇都宮	繁田 進	佐藤 真太郎	大庭 恵一	盛田 和彦	ハニカット 陽子	桜井 智野風	鈴木 いづみ	桜井 智野風	藤本 裕也

“日清食品カップ” 第32回全国小学生陸上競技交流大会 開催要項(案)

1. 開催趣旨

近年、全国的に児童の体位向上は著しいものがありますが、それと平行して基礎体力の向上が望まれているところでもあります。一方、多くのスポーツが低年齢者層に普及しつつあり、スポーツ関係者としては誠に喜ばしいかぎりでもあります。

そうしたなかで、各スポーツの指導者からは、小学生の基礎体力の向上とともに、あらゆるスポーツの基本である「走る」「跳ぶ」「投げる」ことの正しい指導が強く望まれております。

そこで日本陸上競技連盟では、夏休みの期間を利用して、小学校高学年の児童を対象に陸上競技の基本技術の習得を目的としての競技会を開催いたします。また、大会を通じてグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養、陸上競技を通しての基礎体力の養成を図ります。本交流大会が、小学生のみなさんが生涯を通してスポーツに親しんでもらえるきっかけとなるよう願って開催いたします。

上記の趣旨を十分に配慮しながら、以下の開催要項に従い第31回大会を開催いたします。

2. 開催要項

- [目的] 研修を通してグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養を図る
あらゆるスポーツの基本とされる陸上競技技能の習得を図る
わが国スポーツ界の底辺拡大を図り、小学生の健全なる心身育成の一端とする
小学生を指導する陸上競技指導者の研鑽を図る
- [主催] 日本陸上競技連盟
- [後援] 文部科学省 横浜市 公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団
公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団 読売新聞社
- [協賛] 日清食品ホールディングス株式会社
- [主管] 神奈川陸上競技協会
- [協力] アシックスジャパン株式会社 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社
- [会場] 神奈川・日産スタジアム
- [参加者] 小学校5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた代表選手
22名と指導者4名とする。
- [期間] 2016年8月19日(金)・20日(土) ※1泊2日

3. 選手・指導者日程(予定)

8月19日(金)		8月20日(土)	
11:00～	受付	8:30～	開会式
11:30～17:30	フリー練習	9:30～18:00	競技会
15:30～16:15	指導者研修会		※終了予定
16:30～17:15	監督会議		

4. 競技会要項

(1) 種目および参加人員 *各都道府県は、下記の範囲内で選手団を編成する。

種別	種目	選手	指導者
リレー (2種目)	男子4×100mリレー	5名	監督含む指導者：4名 (支援コーチ：4名以内)
	女子4×100mリレー	5名	
単独種目 (12種目)	男子6年100m	1名	
	女子6年100m	1名	
	男子5年100m	1名	
	女子5年100m	1名	
	男子80mハードル	1名	
	女子80mハードル	1名	
	男子走幅跳	1名	
	女子走幅跳	1名	
	男子走高跳	1名	
	女子走高跳	1名	
	男子ジャベリックボール投	1名	
	女子ジャベリックボール投	1名	
合計		22名	4名
		26名	

*全国大会に参加する選手団の旅費・宿泊費については支援コーチを除いて全額主催者で負担する。

(2) 全国大会への参加資格ならびに条件

①選手は小学校5・6年の年齢に該当する児童であること。

小学5年生種目：2005年4月2日～2005年4月1日の間に生まれた者

小学6年生種目：2004年4月2日～2004年4月1日の間に生まれた者

②総監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。

◇JAAF公認ジュニアコーチ（日体協公認陸上競技指導員・上級指導員）有資格者

◇JAAF公認コーチ（日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ）有資格者

◇JAAF公認ジュニアコーチ専門科目講習修了者（小学生中央研修会修了者などを含む）

③選手の選考は本要項の段階を経ること。

④リレーチームの編成は、各都道府県での最終選考会に参加した時点でのリレーチームであり、大会本部の承認なしにメンバーの変更等は認められない。（全国大会は5名のエントリーが可能であり、できるだけ最終選考会には5名でのエントリーが望ましい。選考会後の追加エントリーは認めない。）

⑤リレーメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。

⑥同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。（リレーも1種目とする。）

⑦居住都道府県と異なる都道府県でのチーム所属は可能とする。ただし、1人1所属とし、複数チームへの所属は認めない。

(3) 選考会

①各都道府県陸上競技協会による選考会を経た後にリレーチームおよび単独種目の出場選手を選考する。

②選考会への出場については、1人1都道府県とする。複数都道府県での出場は認めない。

(4) 競技規則

2016年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

(5) 競技方法

- ①競技に際してはオールウェザー用のスパイク又はシューズを使用すること。
- ②スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
- ③リレー競走におけるテークオーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認める。
- ④80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11mとする。
- ⑤走高跳(はさみ跳び)は、マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
- ⑥ジャベリックボール投は全員3回の試技とする。競技場所は第2曲走路側とし、助走距離は15m以内とする。

5. 研修・交流会要項

47都道府県から代表として参加する小学生は、日程表に定められた研修会に参加する。

6. 申込方法

各都道府県陸上競技協会による選考会終了後、1週間以内に下記の手順で大会事務局あてに申込みをする。
(※選考会の開催日が申込締切間近の場合、終了後ただちに申込みを行うこと。)

最終の申込締切については下記のとおりとし、原則として、申込締切を過ぎた申込みは認めない。

(手順1) Eメールにて参加申込書データの提出

参加申込書の必要事項を明記し、2016年7月20日(水)までにデータを下記の
エントリー・輸送事務局へ必ずEメールの添付ファイルで提出する。

申込先 Eメールアドレス: nissincup@jaaf.or.jp

※送信の際、件名に「〇〇都道府県・第32回小学生陸上申込書」と明記すること。

(手順2) 参加申込書 原本の提出

記入したデータを出力し、加盟団体理事長(専務理事)の押印後、2016年7月22日(金)必着にて、
下記の『エントリー・輸送事務局』宛に郵送する。

※やむなく、最終予選会日程が締切日以降となる都道府県については、最終予選会が終了次第、
ただちに申込書のみEメールにて送付すること。原本および、その他書類は揃い次第郵送すること。

【原本郵送先】

全国小学生陸上選手団事務局

〒112-0014 東京都文京区関口2-3-3 目白坂STビル7F

近畿日本ツーリスト株式会社 東京第1教育旅行支店 担当:実方・高山

TEL:03-6892-1801 / FAX:03-6892-7327

7. 表彰・その他

- (1) 各種目（友好100mは除く）の8位までの入賞者には賞状、副賞、参加者全員に参加記念品・記録証を授与する。
- (2) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱う。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

8. 宿泊

選手団は、日産スタジアムに2016年8月19日（金）の指定された時間までに集合し、解散まで主催者が定めた宿舎に宿泊する。

9. その他注意事項

- (1) 競技場内での写真・ビデオ等の撮影について
本大会主催者より各選手団に50枚のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後ろから確認できる位置（左肩）につけること。リボンが確認できない場合、警備員もしくは大会関係者より声掛けをする場合がある。
- (2) 写真の二次使用について
本大会主催者が認めた報道機関が撮影した写真等を、新聞・雑誌・大会報告・ホームページ等での公開、また、次回大会のポスター・パンフレット・プログラムに使用することがある。

“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会
ジャベリックボール投の導入について

【導入の目的】

小学生のやり投の普及を目的に、基本となる技術を安全かつ容易に身につけられるようにする。

【種目名】

ジャベリックボール投 (JAVELIC BALL THROW)

【導入競技会】

第32回“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会より

【記録公認】

認定記録とする。

【使用器具】

- 1) 市販されている器具を使用する。一公認陸上競技用器具扱いではない。
- 2) 第32回“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会では主催者が用意した器具を使用する。
- 3) 各都道府県で実施される競技会においては、使用器具は各大会で決定するものとする。従来のソフトボール投の実施も認める。

【競技会規則】

- 1) 全員3回の試技とする。競技場所は第2曲走路側とし、助走は15m以内とする。
- 2) やり投競技に準ずるが、距離の測定は器具が地面に最初に触れた時点から計測する。複数面が同時に着地した場合は最短距離を計測する。
- 3) 次の行為を禁止事項とする。
 1. 羽を持つての投てき
 2. 回転投げ
- 4) 競技会実施中に器具の破損等が確認された場合、審判員の判断により除去するものとする。

【陸協への周知】

- 1) 2015年12月中を目処に指導VTRを配信予定
- 2) 2016年4月1日を目処に各都道府県に10個程度、日本陸連から配布予定。

“日清食品カップ” 第19回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会開催要項

- 【主催】 日本陸上競技連盟
- 【後援】 スポーツ庁、大阪府、大阪府教育委員会、池田市、池田市教育委員会、公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団、公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団
- 【主管】 大阪陸上競技協会
- 【協賛】 日清食品ホールディングス株式会社
- 【協力】 アシックスジャパン株式会社、ミズノ株式会社
- 【開催日程】 2016年12月10日(土)～11日(日)
- 【開催場所】 大阪・池田市民文化会館(アゼリアホール)、万博記念公園東の広場特設コース、万博記念競技場
- 【実施種目】 <<研修会>>
 全国50チームの指導者・選手を対象に、特別講師ならびに日本陸上競技連盟による講習・研修会を実施する。
 <<チーム対抗クロスカントリーリレー>>
 全国から50チームが参加し、6区間(1区間1.5km)の総合タイムで順位を決定する。
 ＊1・3・5区が女子選手、2・4・6区が男子選手とする。
 <<友好タイムトライアルレース>>
 チーム対抗リレーに参加できなかった50チームの男女各1名が出場する。
- 【参加資格】 小学校5・6年生8名(男女各4名)と指導者2名の合計10名で構成される「小学校またはクラブ」のチームとする。チームとは、日常的に活動をしている組織であり、大会参加のために組織された選抜チーム等は認められない。
 指導者2名のうち、少なくとも1名は次の有資格者もしくは修了者であること。
 ・JAAF公認ジュニアコーチ(日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ)
 ・JAAF公認コーチ(日体協公認陸上競技指導員・上級指導員)
 ・JAAF公認ジュニアコーチ専門科目修了者
 ・全国小学生指導者中央研修会修了者
- 【出場チーム】 各加盟団体より推薦を受けた全国47都道府県より各1チームずつ、開催地(大阪)より3チームの合計50チームとする。
- 【申込方法】 (1)各加盟団体は、2016年11月7日(月)までに「指導者・選手申込書」「大会参加同意書」「健康診断書」をEメールの添付ファイルでエントリー・輸送事務局宛に提出すること。
 ＊都道府県での予選会を行う場合、申込締切に間に合う日程にて実施すること。
 ＊「大会参加同意書」「健康診断書」の原本は、各チームで大会終了時まで保管すること。
 ＊大会参加同意書内<大会規約>2に該当する場合は、「健康診断書」の提出が必要。
 Eメールアドレス: cx_nissincup@jaaf.or.jp / 件名:〇〇都道府県小学生クロカン申込書
- 【経費】 参加が決定したチームの旅費、宿泊費等は全額主催者が負担する。
- 【その他】 (1)個人情報保護に関する法令順守
 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱う。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
 (2)会場内での写真・ビデオ等の撮影について、
 本大会主催者より各選手団に●●枚のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後ろから確認できる位置(左肩)につけること。
 リボンが確認できない場合、大会関係者より声掛けをする場合がある。
 (3)写真の二次使用について
 本大会主催者が認めた報道機関や大会の協賛・後援の各社が撮影した写真等を、新聞・雑誌・大会報告・ホームページ等での公開、または次回大会のプログラムに使用することがある。

【エントリー・輸送事務局】	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24 西新宿 KFビル 3階 近畿日本ツーリスト(株) トラベルサービスセンター東日本 「全国小学生クロスカントリー エントリー・輸送事務局」係 Eメール: cx_nissincup@jaaf.or.jp TEL:0570-064-205 FAX:03-6730-3230
【お問い合わせ】	日本陸上競技連盟事務局 全国小学生クロスカントリー担当: ^{あびる} 畔蒜、藤代 TEL:03-5321-6580 FAX:03-5321-6591

“日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会
“日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会
参加資格の変更について

○ “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会

【変更前】

総監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。

- ・ JAAF 公認ジュニアコーチ（日体協公認陸上競技指導員・上級指導員）有資格者
- ・ JAAF 公認コーチ（日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ）有資格者
- ・ JAAF 公認ジュニアコーチ専門科目講習修了者（小学生中央研修会修了者などを含む）

【変更後】

総監督・指導者 4 名は、いずれも都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。

- ・ JAAF 公認ジュニアコーチ（日体協公認陸上競技指導員・上級指導員）
- ・ JAAF 公認コーチ（日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ）

【導入時期】

第 33 回大会（2017 年度）より導入

○ “日清食品カップ”全国小学生クロスカントリーリレー研修大会

【変更前】

指導者 2 名のうち、少なくとも 1 名は次の有資格者もしくは修了者であること。

- ・ JAAF 公認ジュニアコーチ（日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ）
- ・ JAAF 公認コーチ（日体協公認陸上競技指導員・上級指導員）
- ・ JAAF 公認ジュニアコーチ専門科目修了者
- ・ 全国小学生指導者中央研修会修了者

【変更後】

各チームの指導者 2 名は、ともに以下の条件を満たしていること。

- ・ JAAF 公認ジュニアコーチ（日体協公認陸上競技指導員・上級指導員）
- ・ JAAF 公認コーチ（日体協公認陸上競技コーチ・上級コーチ）

【導入時期】

第 20 回大会（2017 年度）より導入

U16(中学生)指導者講習会について

<要項>

近年、全国の中学校では陸上競技部の減少・陸上競技の指導者不足が叫ばれている。そこで、これから陸上競技を始める子ども達を指導できる指導者の育成、陸上競技の底辺拡大を目指し、陸上競技の基本的な理論や日常での練習方法等の講習会を実施する。

主 催： 日本陸上競技連盟

開催目的： 中学校陸上競技指導者の指導力の養成

開催期日： 201〇年〇〇月〇〇日() 9:00～16:00

開催場所： 〇〇〇〇陸上競技場

参加対象： 中学生を対象とした陸上競技指導者

開催種目： ①短距離orハードル ②走高跳or走幅跳 ③ジャベリック・砲丸投

内 容： 陸上競技の基本的な理論・ルール、基本的な指導方法など

日 程： 9:00～ 9:30 開講式

9:30～10:30 理論講習

10:45～11:45 講習Ⅰ：ハードル

12:00～13:00 講習Ⅱ：走高跳or走幅跳

13:00～13:15 質疑応答

13:15～14:15 昼食・休憩

14:15～15:15 講習Ⅲ：ジャベリック・砲丸投

15:15～15:45 質疑応答

15:45～16:00 閉講式

指導講師： 〇〇〇〇（日本陸上競技連盟〇〇〇〇）

〇〇〇〇（日本陸上競技連盟〇〇〇〇）

申込先： 〇〇〇〇

<役割と開催地陸協の負担>

○日本陸連の役割・負担

➢ 役員・講師の調整、派遣

* 派遣役員・講師に関わる謝金・交通費・日当は日本陸連にて負担(宿泊費を含む)。

○開催地陸協の役割・負担

➢ 会場の手配と会場使用料の負担

➢ 受講生の募集

➢ 地元スタッフの調整、手配、経費の負担(必要に応じて)

➢ 講習会当日の昼食手配(日本陸連派遣役員・講師を含む)

➢ 講習会当日の宿舎～会場間の交通確保

<2015年度実施会場>

会場	開催日	会場	講師		
			走・ハードル	跳	投
宮崎	2015年 11月23日(月)	KIRISHIMA ヤマザクラ県 総合運動公園	櫻井 智野風	田代 章	繁田 進
群馬	2016年 1月17日(日)	正田醤油 スタジアム群馬	沼澤 秀雄	下山 良成	櫻井 智野風
福岡	2016年 1月31日(日)	東平尾公園博多の森 陸上競技場	秋元 恵美	下山 良成	櫻井 智野風
山梨	2016年 2月20日(土)	小瀬スポーツ公園 中銀スタジアム	沼澤 秀雄	森 健一	繁田 進
佐賀	2016年 3月13日(日)	佐賀県 総合運動陸上競技場	櫻井 智野風	森 健一	繁田 進

<2016年度について>

より一層学校教員に受講していただくために、教育委員会に対しても働きかけをしていきたい。

U16（中学生）指導者講習会
過去開催地一覧

年度	回数	開催地	開催日	開催場所
2006	1	東京	2007/3/25(日)	台東区リバーサイド陸上競技場
2007	2	大分	2008/2/13(水)	大分市宮陸上競技場
2008	3	宮崎	2009/1/25(日)	宮崎県総合運動公園
2009	4	中央	2009/11/3(火)	味の素ナショナルトレーニングセンター
	5	長野	2010/2/12(金)	長野県松本平広域公園陸上競技場
2010	6	中央	2010/11/3(水)	味の素ナショナルトレーニングセンター
	7	広島	2010/11/20(土)	広島経済大学陸上競技場
	8	長崎	2010/12/11(土)	佐世保市総合グラウンド陸上競技場
	9	山口	2011/2/12(土)	維新百年記念 補助競技場
	10	新潟	2011/2/20(日)	東北電力ビッグスワンスタジアム
2011	11	中央	2011/11/3(木)	味の素ナショナルトレーニングセンター
	12	石川	2011/11/26(土)	石川県西部緑地公園陸上競技場
	13	滋賀	2012/3/3(土)	希望が丘文化公園陸上競技場
	14	佐賀	2012/3/10(土)	佐賀県総合運動場陸上競技場補助競技場
	15	山形	2012/3/18(日)	NDソフトスタジアム山形
2012	16	中央	2012/11/3(土)	味の素ナショナルトレーニングセンター
	17	福岡	2013/1/14(月)	東平尾公園博多の森陸上競技場
	18	鹿児島	2013/2/10(日)	日置市伊集院総合運動公園陸上競技場
	19	鳥取	2013/3/2(土)	コカ・コーラウェストスポーツパーク陸上競技場
2013	20	中央	2013/11/4(月)	ナショナルトレーニングセンター
	21	千葉	2013/10/17(木)	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場
	22	青森	2013/11/2(土)	青森県総合運動公園陸上競技場
	23	愛媛	2013/11/9(土)	愛媛県総合運動公園陸上競技場
	24	熊本	2014/2/22(土)	うまかな・よかなスタジアム
2014	25	長野	2015/11/29(日)	松本平広域公園
	26	東京	2015/2/1(日)	上柚木競技場
	27	香川	2015/2/8(日)	丸亀競技場
	28	山梨	2015/2/21(土)	中銀スタジアム

JAAF U16 トップトレーニングキャンプ実施要項

- 主 旨： トップアスリートの土台作りを目的としたU16カテゴリーの競技者及び指導者の研修合宿
 主 催： 公益財団法人 日本陸上競技連盟
 後 援： 公益財団法人 日本中学校体育連盟(予定)
 協 賛： アシックスジャパン株式会社
 対 象： 各都道府県陸協からの推薦：競技者1名、陸協または陸連から推薦された競技者の指導者1名
 日本陸連推薦からの競技者：全日本中学校陸上競技選手権大会の入賞者
 第46回ジュニアオリンピックBCカテゴリー優勝者
 その他日本陸上競技連盟が推薦する者
 ＊ 競技者は中学1、2年生を対象とし、800m以上の距離の種目、リレー種目は除く
 ＊ 指導者は原則として都道府県陸協推薦競技者もしくは日本陸連推薦競技者の指導者とする。

日 程： 2016年1月9日(土)～1月11日(月・祝)
 会 場： 味の素ナショナルトレーニングセンター(NTC)
 宿 泊： ホテルメトロポリタン池袋(予定)

	1月9日(土)	1月10日(日)	1月11日(月・祝)
午前	集合13:00 開講式 自己紹介 走跳投の基本	種目測定	種目別トレーニング
午後		合同トレーニング	閉講式 解散
夕方	理論研修①	理論研修②	

＊ 競技者・指導者の研修内容が異なる場合もございます。
 ＊ カリキュラムは予定です。変更になる場合があります。

運 営： 日本陸上競技連盟普及育成委員会
 申 込：

提出者	提出物	提出期限
陸協	陸協推薦書	2015年10月27日(火)
引率指導者	【引率指導者用】申込書	
競技者	【選手用】申込書	

■WEB 申込

【U16 トップトレーニングキャンプエントリーフォーム】

<http://goo.gl/forms/jT5PCg4sUR>



QR コードからもエントリーフォームの読み取りが可能です。

【本件に関するお問い合わせ】

日本陸上競技連盟事務局 「U-16 トップトレーニングキャンプ」 担当：畔蒜(あびる)・藤代
 TEL:03-5321-6580 FAX:03-5321-6591 Email: coach@jaaf.or.jp

経 費： 下記条件内において、本連盟で負担いたします。
 往復の交通費(旅行社で手配できない範囲は自己負担)、NTC・ホテル間の交通、
 1月9日、10日の宿泊費、1月9日夕食、1月10日/3食、1月11日/朝・昼食
 ＊ 上記以外の食事などは各自でご負担ください。
 交通チケットにつきましては旅行社から送られるチケットを使用してください。
 チケット到着後の変更手続き、変更に伴う追加料金につきましてはご自身でご負担をお願いします。

U16 ジュニアブロック研修合宿について

中学校の陸上競技に携わる選手及び指導者が競技に対する知識と理解を深めながら種目に応じた技術指導の中、一層の競技力向上に寄与するとともに集団生活を通して基本的な生活習慣の確率と選手相互の友情を培うことを目的として、toto 助成を受け、中学生のブロック研修合宿を、2013年度から実施しています。

各ブロックでの開催会場、参加者の選定については、中体連陸上競技部ブロック長、各県委員長を中心に準備を進めています。

1. 事業名 2015日本陸上競技連盟U16ジュニアブロック研修合宿
2. 主催 公益財団法人日本陸上競技連盟
3. 対象 各都道府県より推薦された中学生競技者・指導者
(人数は各地域ブロックによって異なる)
4. 期間 2015年12月下旬～2016年1月にかけて9会場で実施
5. 実施予定

ブロック	都道府県	日程	開催地	会場
北海道	北海道	1/4-1/5	北海道	きたえーる
東北	青森・岩手・宮城・秋田 ・山形・福島	12/5-12/6	宮城	宮城スタジアム
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉 ・千葉・東京・神奈川・山梨	12/26-12/28	栃木	栃木県総合運動公園
北信越	新潟・長野・富山・石川・福井	1/30-1/31	静岡	草薙陸上競技場
東海	静岡・愛知・三重・岐阜			
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫 ・奈良・和歌山	12/26-12/28	奈良	鴻池陸上競技場
中国	鳥取・島根・岡山・広島・山口	12/26-12/28	広島	エディオンスタジアム (広島広域公園)
四国	香川・徳島・愛媛・高知	12/26-12/27	徳島	ポカリスエットスタジアム
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本 ・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	1/9-1/11	熊本	うまかなよかなスタジアム

第19回 JAAF コーチング・クリニック (指導者のためのコーチング・クリニック) 参加者募集

例年、指導者の皆様から大変好評を得ております「JAAF コーチング・クリニック」を下記要項で開催致します。

第19回は、松田克彦先生（名古屋学院大学）と大村邦英先生（東京高校）をお招きし開催致します。

松田先生は、十種競技元日本記録保持者であり、2014年アジア競技大会十種競技で金メダルを獲得し、現日本記録（8308点）保持者の右代啓祐選手（スズキ浜松AC）を専任コーチとして指導され、日本陸連強化委員会混成部副部長としてご活躍されています。

大村先生は、長年にわたって東京高校で指導され、2015年全国高校総体100mとともに2連覇を果たした大嶋健太選手とエドバー・イヨバ選手ら幾多のトップアスリートを輩出されました。また、女子チームが10月下旬に行われた2015年日本選手権リレー4×100mリレーにおいてアジアジュニア新記録となる44秒48を樹立しました。指導者の皆様、ぜひご参加ください。

開催要項

- 主催：公益財団法人日本陸上競技連盟
共催：アシックスジャパン（株）
運営：日本陸上競技連盟普及育成委員会
日程：2016年1月23日（土） 10：00～17：00（9：30受付 昼食1時間）
会場：味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）
東京都北区西が丘3-15-1
講師：松田克彦先生（名古屋学院大学）
大村邦英先生（東京高校）
参加者：JAAF公認ジュニアコーチ（日体協公認指導員）
JAAF公認コーチ（日体協公認コーチ）、中学・高校・大学・実業団の指導者
定員：100名
参加費用：JAAF公認指導者資格有資格者 5,000円
それ以外の方 7,000円
* 参加費用は理由の如何に関わらず返却はできません。
* 宿泊斡旋はしておりませんので、各自でお願いいたします。

- 申込方法：日本陸連webサイト（<http://www.jaaf.or.jp/athlete/>）より所定の書式に記入いただき、お申し込みください。先着100名で、定員に達し次第締め切ります。
* 1月24日まではJAAF公認指導者資格有資格者の先行受付となります。それ以外の方は1月25日からの申込となります。
* 折り返し参加料納入のご案内をお送りします。
インターネットでのお申込みができない方は下記までお問い合わせください。

- 問合せ：日本陸上競技連盟 「コーチング・クリニック係」
TEL:03-5321-6580（平日：10:00-18:00） 担当：藤代・畔蒜
FAX：03-5321-6591 coach@jaaf.or.jp

- * 内容及び講師は、諸事情により変更になる可能性があります。
* ビデオでの撮影はご遠慮頂く場合がありますので、予めご了承ください。
講習会は公認スポーツ指導者の「義務研修」として位置付けておりますので、指導者資格をお持ちの方は積極的に受講して下さい。

<第20回 JAAF コーチング・クリニックについて>

第20回を2月21日午後には神戸で実施予定です。内容は競歩、長距離を予定しています。詳細は決まり次第、日本陸連 web サイトなどで告知いたします。